

『 クリエーターの話 ～ 私のイメージの源泉 』

スペースデザイン部会員 五十嵐 通代

私の、大切にしている言葉

私が創作を本格的に始めたのは、50歳の時からです。

それまで、大家族、親戚、同族会社の社員さんの中で、3人の子育てをしながら日々の生活を受け身の形で必死に過ごしていました。

自分の事をする時間が出来たのが50歳でした。

自分の好きな事を通して自分自身を表現出来る場所がある事を知りました。しかし、平織りぐらいしか出来ない当時の私はどうすればよいのかと、色々考えている時に東京テキスタイル研究所の見学でSD部の桜井玲子先生に出会いました。作品を見て頂き『来てもいいよ。』と言って頂きました。

私が創作で頼りにしている言葉が二つあります。

一つは、桜井先生の教で『何を作りたいかが先にあって、その為にどうすればいいのかを考えなさい。技術は後から付いて来る。』という言葉です。この言葉は私にとっては絶対です。

もう一つの言葉は、50年ぐらい前にファイバー作家の堀内紀子先生の講義で聞いた『いつもすぐにイメージが出てくるとは限りません。何も浮かばない時は手を動かさなさい。動かしていると何か出てきます。』

偉い先生でもそんな時があるのかと、その当時の若い私は思いました。それ以来、苦しい時は実践しています。

創作する時のイメージは、普段の身の回りからのメッセージに気が付く事だと思っています。

地球で起こっている様々な事柄から発想したりもします。

好みの作家の作品に刺激を受ける事もあります。

テキスタイルをされている方は多くの方がそうだと思いますが糸が好きです。

好きな糸に出会ってしまい、そこから発想する事もあります。

作品1 『繁』

現在ポーランドで行われている、第17回国際タペストリートリエナーレに出品している作品『繁』のイメージです。



週に何度か通る公園です。

役所の人が年に何回か雑草を刈るのですが、いつの間にか雑草は育ってきます。役所の人には地面から出ているところだけ刈っていて、地面の中の根っこはそのままにしています。地面の中の根っこはどんなだろうかと思っていました。凄く絡まっているのだらうと思いました。その地面は根が絡まっているので地震がきても強いだろうとか考えているうちに作品にしてみようと思いました。植物が地球を救う生命力の強さみたいなものを表せたらと思いました。





第 17 回国際タペストリートリエナーレ（ポーランド）
出展作品『繁』 テキスタイルミュージアム展示風景

作品2 『包む』



2013 年 新制作受賞作家展 出品『包む』

この作品は国立博物館で見たモンゴルのお妃様のミイラからのイメージです。
ミイラの魂が出ないように布で覆いその上から鎖で全体を包んでいました。
絹糸の織りと金属のルーピングで制作しました。

最後に、平織りしか出来なかった私でも創作は出来ること、今でも私の技術は極々単純な技術の
組み合わせで成り立っていますが、まだまだ面白そうな事が出来そうな気がします。

五十嵐 通代プロフィール



東京生まれ

- 2004 第9回家庭画報大賞展 審査員特別賞受賞・リヤド口賞受賞
第40回神奈川県美術展 特選受賞
- 2006 第70回新制作展 初入選 (以後毎年出品 除く2008年)
- 2007 第13回真綿のヴィジュアル・アート展 フロスシルク賞受賞
- 2008 第14回真綿のヴィジュアル・アート展 織り染賞受賞
第83回国展入選
- 2009 第15回真綿のヴィジュアル・アート展 佳作
- 2013 第77回新制作展 新作家賞受賞 2014
第24th Arte & Arte International Exhibition of Contemporary Textile Art / Italy
第78回新制作展 新作家賞受賞
- 2015 第79回新制作展 会員推挙
第14回KAJIMA彫刻コンクール 模型部門入選
- 2016 JOSHIBISION2015 女子美術大学選抜展
- 2017 Affordable Art Fair / LONDON
PLASTIC Art Seoul / KORIA
- 2018 日本建築美術工芸協会『Box展』
個展ギャラリー『LEGION』神保町
個展ギャラリー『gallery gallery』京都
- 2019 三人展ギャラリー『るたん』銀座
- 2020 二人展ギャラリー『LEGION』神保町
個展ギャラリー『gallery gallery』京都
- 2021 テキスタイルアート・ミニチュール展8 「Gallery5610」東京
- 2022 17th International Triennial Tapestry 2022 ポーランド

「AZグループ展」山脇ギャラリー、世田谷美術館市民ギャラリー、ギャラリー魚水堂、ギャラリー『茶の実倶楽部』、
目黒美術館市民ギャラリー 他